



## 4\_移築の可能性と社会的意義

### 参考文献



## 4\_移築の可能性と社会的意義\_まとめにかえて

- ・ 様々な理由による移築

古代： 遷都や所有者の寄進など

中世： 部材の転用など

近世： 建物の下賜など

近代： 個人の蒐集趣味や災害など

現代： 文化財的価値のある建物の保存や土地の開発など

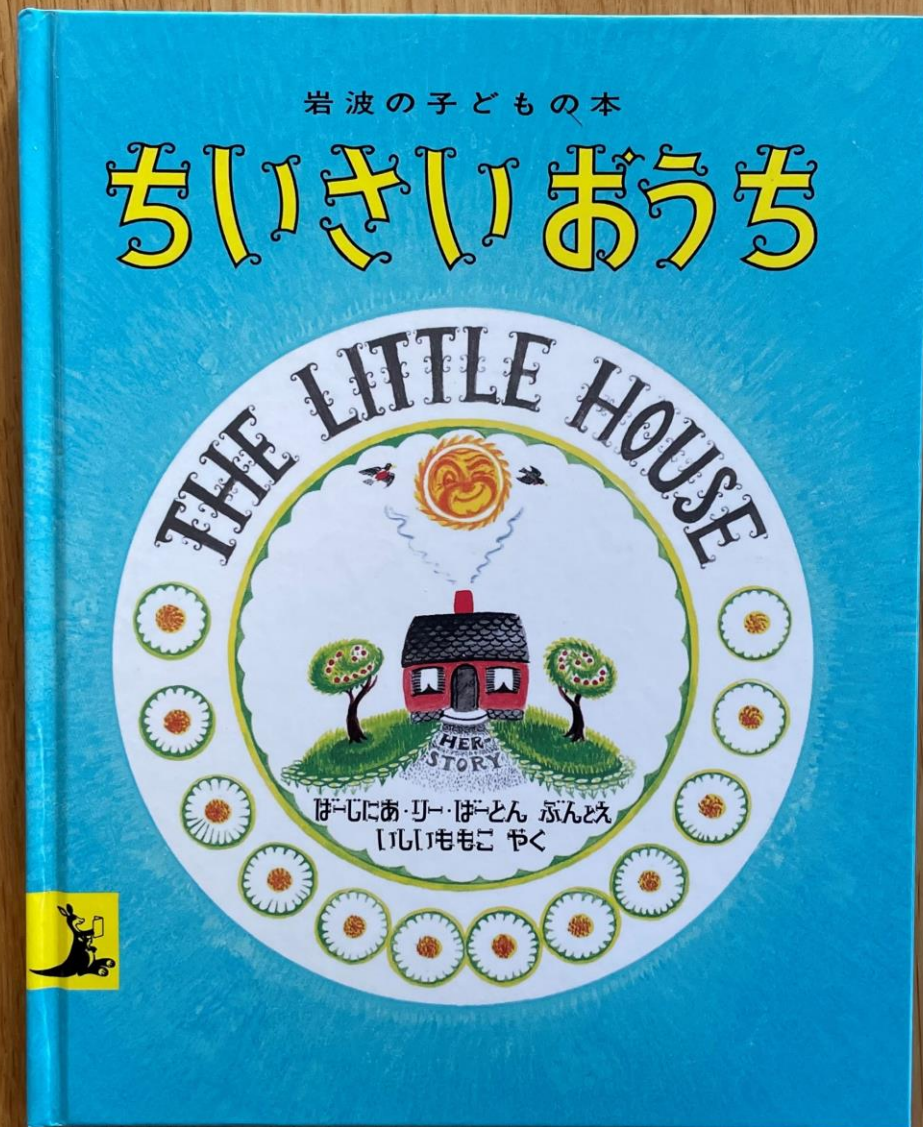
→ 「移築」によって建物は新たな生を獲得





- この度の復原整備プロジェクトは2度の移築を経て、創建時の場所に戻る極めて稀で恵まれたもの
- 荻外荘を地域の文化資源として、大切に維持管理しながら活用していくことが「移築」の可能性を広げ、社会的意義を獲得していくことになる





建物のしあわせはそれに関わる人々とのしあわせと大きく関係している

# 参考文献

## 0\_はじめに

- ・藤井恵介「移築研究の目的と意味」日本建築学会大会学術梗概集、2001年9月
- ・伊東博士作品集刊行会編『伊東忠太建築作品集』城南書院、1941年
- ・杉並区教育委員会編『国指定史跡 荻外荘（近衛文麿旧宅）』2017年

## 1\_移築とは何か

- ・西村幸夫・本中眞編『世界文化遺産の思想』東京大学出版会、2017年
- ・太田博太郎『日本建築基礎資料集成四 仏堂Ⅰ』中央公論美術出版、1981年
- ・岡田英男『日本建築の構造と技法 上』思文閣出版、2005年
- ・『国宝唐招提寺講堂他二棟修理工事報告書』奈良県教育委員会、1972年
- ・益田兼房「世界遺産条約と世界文化遺産奈良コンファレンス」『建築史学』24号、1995年3月

## 2\_移築の方法

- ・岡部則之、才上政則、宮崎貴重『曳家・家起こしの技術』建築技術、2013年

## 3\_移築の年代と遺構

- ・太田博太郎『日本建築基礎資料集成四 仏堂Ⅰ』中央公論美術出版、1981年
- ・太田博太郎『日本建築基礎資料集成五 仏堂Ⅱ』中央公論美術出版、2006年
- ・岡田英男『日本建築の構造と技法 上』思文閣出版、2005年
- ・『国宝建造物法隆寺東院舍利殿及絵殿並伝法堂修理工事報告』法隆寺国宝保存工事報告書第八冊、1943年
- ・『国宝当麻寺本堂修理工事報告書』奈良県教育委員会、1960年
- ・藤岡通夫『京都御所』中央公論美術出版、1987年
- ・西和夫『三溪園の建築と原三溪』有隣新書、2012年
- ・鈴木博之監修『元勳・財閥の邸宅』JTBパブリッシング、2007年
- ・古稀庵記録保存調査団『山縣有朋旧邸 小田原古稀庵 調査報告書』千代田火災海上保険株式会社、1982年